

平成18年度第3回県民活動審議会の概要について

1 開催日時・場所

平成19年3月13日(火) 14:00～16:00 県庁共用第5会議室(本館棟4F)

2 出席者

委員 樋口会長 横田副会長 梶間委員 河波委員 杉山委員 高見委員
畑山委員 福森委員 藤原委員 船崎委員 山崎委員 山田委員
吉岡委員 (17名中13名 出席)

ワザバ - 「やまぐち県民活動きらめき財団」藤屋副理事長
県 県民生活課長 やまぐち県民活動支援センター長
県民活動推進班長ほか職員3名

3 概要

(1) 会議概要

「平成19年度県民活動促進事業について」及び「県民活動促進基本計画の改定に係るアンケート調査結果の概要について」の2つの審議事項を中心に、事務局から案を説明し、委員から意見を聴取した。

(2) 主な意見等

《平成19年度県民活動促進事業について》

- ・普及啓発に関しては、県民活動団体だけでなく、大学のボランティアセンター、企業、中間支援団体等を含めて取り組み、「協働の色」が鮮明な企画が出されるよう公募の段階で工夫してほしい。

《県民活動促進基本計画の改定に係るアンケート調査結果の概要について》

- ・企業にとって本体事業の中で社会貢献活動を実施することにより、企業自身が活性化するという視点が大切である。
- ・企業の中には、社会貢献活動の一つとして、従業員のボランティア活動への参加を掲げているところがある。以前、県社協が取り組んだ企業の社会貢献活動の事例の集約及び情報発信を行ったらよいのではないか。
- ・企業から、県民活動団体と交流する場がないという意見を聞いた。交流する場を提供することも大事だ。
- ・経営者として、従業員、特に若い人に対して、地域とのつながりの大切さを教えていきたい。企業としての協働は難しい面があるかもしれないが、従業員が個人の立場で県民活動に関わっていくことに対してはサポートも可能だ。
- ・県民活動団体対象のアンケートの問5、問6及び問8は重要である。集計は、パーセンテージで出してほしい。クロス集計では、「地域」、「活動年数」及び「予算規模」の各項目について再集計してほしい。問12、問13も同様である。
- ・地域資源を活用しようという考え方に立ち、大学では、最近、社会貢献活動を「自主活動」、「地域活動」として盛んに取り組むようになってきた。
- ・大学の姿勢の変化は感じている。アンケートの実施によって、県民活動に関心を持ってもらうきっかけにもなったのではないか。